

災害から文化遺産と地域をまもるための対策マニュアル

(案)

平成16年2月27日

災害から文化遺産と地域をまもるための対策マニュアル(案)

目 次

1 章 具体化に向けての検討方法

- (1) 基本方針
- (2) 検討フロー
- (3) 整備計画(案)に向けて

2 章 まもるべき文化遺産と地域の現状把握

- (1) まもるべきエリアの設定
- (2) エリア内の文化遺産
- (3) 地域コミュニティ
- (4) 自然・地理的条件
- (5) エリア内の危険箇所（各種ハザードマップ等）
- (6) 文化遺産の防災設備
- (7) 地域の消防水利
- (8) 消防隊、自主防災組織等
- (9) その他

3 章 想定する火災シナリオと対策

- (1) 地震時火災の出火予測
- (2) 災害シナリオの設定
- (3) 出火防止対策
- (4) 類焼防止対策
- (5) 延焼防止対策
- (6) 文化遺産の避難・倒壊対策
- (7) 都市構造の改変対策
- (8) その他

4 章 延焼シミュレーション

- (1) 延焼シミュレーションモデル
- (2) 地図情報、建物構造等数値データ
- (3) 風速・風向

- (4) 発火点の設定
- (5) 延焼対策施設の効果
- (6) 都市構造の改変
- (7) 必要延焼防止時間

5章 ハード・ソフト対策

- (1) ハード対策
 - 消防水利設備の整備（出火防止，類焼防止，延焼防止）
 - 都市構造の改変
- (2) ソフト対策
 - 文化遺産所有者・管理者自らがなすべき対策
 - 地域住民自らがなすべき対策
 - 行政がなすべき対策
 - 連携してなすべき対策
- (3) 具体的な取り組み事例

6章 実現に向けて

- (1) 地域連携の強化
- (2) 文化遺産救援活動の市民参加
- (3) 消防水利設備の耐震化等
- (4) 都市構造の改変
- (5) 消防水利の水源確保
- (6) 地震火災以外の災害に対する対応
- (7) 文化遺産の把握

参考) 事業手法

- (1) 国土交通省
- (2) 文化庁
- (3) 消防庁
- (4) その他